自己評価・外部評価　評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	コメント	
Ⅰ　構造評価（Structure）［適切な事業運営］								
（1）理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				松涛会の理念「医療・介護・福祉の連携により地域社会に貢献いたします」を基に、より具体的な事業所独自の理念を掲げている。	理念の周知ができているようです。
（2）適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				本サービスの特徴と、事業所の理念を理解し、それに基づいたサービスを提供できるように話し合いのなかで徹底している。	今後も理念に基づいたサービスをお願いします。
	3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			年間計画に沿って1回/月に事業所内研修を行っている。 昨年度に引き続き今年度も毎月実施される法人内研修は中止された。件数は少ないが外部研修を受けることはできた。	コロナ感染拡大のために中止となる研修もあるかと思いますが、研修を受ける機会を確保してください。
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				職員一人一人の適正に配慮し、配置している。 サービス開始時には同行訪問し指導や援助内容の確認を行っている。	職員の能力が最大限に発揮できるように、個別に指導をお願いします。
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				同一建物内の訪問看護事業所が移転したが、適時電話などで報告し、医療的観点から指導や、助言をもらっている。 職員に看護師が配置されており、助言をもらっている。	介護と看護の連携ができているようです。
（3）適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている	○				利用者の特性を把握し、状況に応じてシフトを変更する等工夫し、人材配置を行っている。	利用者の特性に応じた人材配置は大事であり、柔軟な対応ができています。
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている			○		今年度も新型コロナ感染拡大防止の為、介護・医療連携推進会議を開催することができなかった。 その他の会議で得られた助言等はサービス提供時に活かしている。	コロナ感染拡大のために会議の中止はやむを得なかったと思います。
（4）適切な情報提供・共有のための基盤整備								

自己評価・外部評価　評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価コメント
			実施状況				コメント	
			できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				援助終了後は必ず事務所に戻り、サービス実施記録を記入している。また口答での申し送りの他、申し送りノートも活用し、漏れのない迅速な情報共有を行っている。 有料老人ホームや居宅介護支援事業所とも迅速に情報共有している。	情報共有のあり方に工夫されています。個人情報の取り扱いに気をつけてください。
（5）安全管理の徹底								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている（交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等）		○			夜勤者は防犯ブザーを携帯する等、交通安全、夜間の安全への対策を行っている。 また、有料老人ホームの建物に移転したことで、建物の防災訓練に参加し、災害時の対応を身につけている。	防災訓練に参加し今後に活かしてもらいたいです。
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				雇用時に個人情報・守秘義務に関する誓約書を取り交わしている。 個人情報保護に関する研修を行い、個人情報の取り扱いについて話し合い、徹底している。	個人情報の取り扱いには徹底できています。
Ⅱ　過程評価（Process）								
1．利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				利用者の一日を通した生活状況を把握し、サービス内容に応じた訪問時間、援助内容をその都度検討し、見直している。	今後もアセスメント力の向上に努めて頂けたらと思います。
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				介護職、看護職それぞれに実施したアセスメントを共有と意見交換により、提案や助言を行っている。	介護と看護の両面からアセスメント共有、意見交換ができ、連携ができています。
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				利用者本人がどうなりたいかを聞き取り、現在できていることを認め、利用者が主体的に目標を設定することで、維持回復を目指した計画を作成するよう心がけている。	未来志向型の計画を引き続きお願いします。
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			利用者それぞれの疾患を把握・理解するように努めている。看護師から病状変化の予測の助言を得て、計画に反映させている。	看護師からの助言を計画に反映させてください。
（2）利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								

自己評価・外部評価　評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価コメント
			実施状況				コメント	
			できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者のその日の体調や精神面での不安等に合わせて、追加訪問や、訪問時間を変更する等して、柔軟に対応している。	利用者の状態に合わせて柔軟に対応できています。
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				サービス提供しながらも常にアセスメントの視点で観察し、利用者の変化の早期発見に努めている。 その結果を毎月のミーティングで検討し、ケアマネージャーと連携し計画変更等で反映するようにしている。	毎月のミーティングで情報共有、連携ができています。
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	○				同一建物内にあった訪問看護事業所が移転したが、適時連携をとって利用者の生活にとって有効な支援が看護・介護それぞれの専門性を活かした役割分担で行われている。	連携がとれやすい環境でよいと思います。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				体調等変化があれば看護職に報告し、指導、助言を受け対応している。特に既往歴による今後の病状予測について指導・助言の元、サービスを提供している。	看護職と連携が取れているようです。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				契約書・重要事項説明書にて、サービスの趣旨や目的など契約時に説明を行い、同意いただき、書面を交付している。	利用者に対しての情報提供、説明は大事です。引き続き行ってください。
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				個々のサービス内容・目標については、訪問介護計画書により説明を行い、同意の署名・捺印をいただいている。	利用者との共有認識を得るための努力されています。
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				利用者の状況の変化などについて、適時家族に報告している。報告の手段としては、電話やメール、連絡ノートを活用している。	家族への報告を工夫されています。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								

自己評価・外部評価　評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	コメント	
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				サービス開始時の情報や話し合いで合意したサービス提供日時が、利用者の生活状況に沿ったものでない場合もあり、訪問のなかで得た情報を共有し、適切に判断するように努め、変更も検討している。	ケアマネージャーとの情報共有は大事です。今後も引き続き行ってください。
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている	○				計画の目標達成を常に意識しながら援助を行う中で、見直しの必要性を感じたら、積極的にケアマネージャに提案している。 インフォーマルサービスについては、近隣住民の力や地域包括支援センターを活用し、必要に応じ提案できるように情報収集している	地域包括支援センターの活用をお願いします。
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				利用者の現状の報告や計画目標の達成状況を、サービス担当者会議の席で報告し、多職種と情報を共有している。	多職種との情報共有はとても大切です。
利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートついての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目）	○				長く付き合いのある近隣住民の協力が、利用者の在宅生活を応援してくれているケースや、認知症早期サポートチームの介入で、在宅生活が支えられているケースなど、地域ケア会議やサービス担当者会議などで情報共有がされ、包括的に検討されている。	包括支援センターが行う地域ケア会議も活用してください。
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）	○				利用者の生活の場が大きく変わる、退院・退所の際は、切れ目のない介護の提供を実現するために、医師・看護師・PT・OT・ST・栄養士・薬剤師などの専門職との退院前カンファレンスに参加して情報・助言を得ている。その会議録を回覧し全スタッフにも情報共有している。	多職種との情報共有、全スタッフにも情報共有できていることは良いことだと思います。
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目）		○			サービス担当者会議において、役割分担について検討されているが、包括的なサポート体制の構築のための役割分担や連携方策についてもっと積極的に進める必要がある。	包括的なサポートを目指してください。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
（1）地域への積極的な情報発信及び提案								

自己評価・外部評価　評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価コメント
			実施状況				コメント	
			できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている			○		過去の会議録を常時事業所で閲覧できるように設置しており、ホームページにも開示している。 今年度は開催できてない為、レジメを設置している。	ホームページを活用してください。
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			○		今年度は新型コロナ感染拡大防止の観点により、地域の集まりに参加することができなかった。	まちづくり協議会での広報をよろしくお願いします。
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	○				地域包括ケアシステム計画の内容を把握し、地域包括ケアシステムにおける当事業の役割を充分に理解している。	職員全員で地域包括ケアシステムにおける当事業の役割を共有してください。
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				特定の建物などに限定することなく、地域に向けてサービスの提供を展開している。	地域へ展開できているようです。
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）			○		地域への周知活動の場面において、情報共有する中から、まちづくりに関する問題点等に気付くことがある。しかし、課題提起や改善策の提案を行うには至っていない。	まちづくりに関して包括支援センターとも情報共有できたら幸いです。
Ⅲ　結果評価 (Outcome)								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○				住み慣れた自宅での生活を続けたいという希望を誰もがもっているが、それぞれに身体的・精神的な問題を抱えており困難になることがある。利用者ごとに目標を設定し、日々のサービス提供のなかで目標達成を意識している。	サービス導入によりどのように利用者に変化があったのか知りたいです。
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				利用者個々の課題に沿った目標を設定し、それを達成するためのサービスを提供することで、在宅生活の継続に対する安心感が得られている。	安心して自宅で生活できるように引き続きお願いします。